



# 国内拠点 & 国内部ニュース

2017年10月号

## PICK UP! JICA 東京



11月12日に八王子市国際協会との共催で「国際交流フェスティバル2017」を開催します。お近くにお住いの方はぜひお越しください！

JICA職員も多く居住する東京都の多摩地区。都心のベッドタウンとしてのイメージが強い地域ですが、少子高齢化の問題と無縁ではなく、市単位での地方創生戦略も策定されています。その多摩地区の中核市である八王子市との間で草の根技術協力を開始しました。太平洋のミクロネシア連邦でのごみ問題の改善を目的としたもので、もともとは八王子市の職員が同国に青年海外協力隊員として現職で派遣されたことから発展、ごみの削減では全国でも有数の実績を持つ八王子市のノウハウを役立てようと市長以下力を入れて下さっています。東京都や首都圏の地方創生への貢献も忘れてはいけないと思うこの頃です。

JICA東京 所長 木野本 浩之

## 「草の根技術協力事業共同記者会見」が八王子市で開催されました！



8月28日、八王子市役所において「草の根技術協力事業 地域活性化特別枠」としてミクロネシアのチューク州で環境保全にむけた2R（リデュース・リユース）の廃棄物削減事業実施にかかる共同記者会見が開かれました。「チューク州のごみ収集業務の改善」、「生ごみ処理方法の改善」、「2R（リデュース・リユース）の啓発」をおこないます。ごみ収集業務の実務の改善、生ごみ処理の改善は八王子市、2R啓蒙にかかる活動は八王子と包括連携協定を締結している創価大学が担う予定です。生ごみ処理には企業も協力予定で、国際協力に地方自治体、大学、企業といった多様な組織が連携して取り組むこととなり、地方創生×官・学・民の連携×国際協力の新たなモデルとなることを期待しています。

この記事の詳細は→ <https://www.jica.go.jp/tokyo/topics/2017/ku57pq00000hjopd.html>

★東京のことをもっと知りたい方は <https://www.jica.go.jp/tokyo/>

## ◆帯広 帯広の森に興味津々！（帯広の森への研修員視察）



9月1日、12か国からのJICA研修員16名が帯広の森を訪れました。「帯広の森・はぐくむ」での講義では、帯広市総合計画の一環として自然との共有をテーマに長期的視点の都市政策について学び、その後、実際に「帯広の森」に入って現状視察を行いました。ハイキングのような和やかなムードの中、森林保全方法や森に生息する動物や微生物に関する積極的な意見交換がなされました。研修員はそれぞれ、外来種と在来種の成長など、自国でも活かせるような取り組みや手法について様々な視点で質問や意見交換をしていました。

この記事の詳細は

<https://www.jica.go.jp/obihiro/topics/2017/20170911.html>

★帯広のことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/obihiro/>

## ◆東北 インドネシア・パプア州における大豆生産技術向上支援事業の本邦研修



インドネシア・パプア州と姉妹県協定を結ぶ山形県では、JICAの草の根技術協力事業を活用し、「インドネシア・パプア州における大豆生産技術向上支援事業」を行なっています。8月末、『パプア州食用作物園芸局職員が、大豆栽培に係る知識・技術やパプア州の環境に適した大豆の品種選定方法を習得し、パプア州の大豆収量増大技術が向上すること』を目的に3人の研修員が来県しました。同州でも、大豆は身近な食べ物で、豆腐や、ゆでた大豆をつぶしてあげた「テンペ」というおやつが、日常的に食べられているそうです。

この記事の詳細は

<https://www.jica.go.jp/tohoku/topics/2017/ku57pq0000hk0sy.html>

★東北のことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/tohoku/>

## ◆横浜 【教師海外研修】ブラジルでの海外研修を終え、帰国しました



神奈川県と山梨県の先生たち10名が8月6日～19日の日程で、ブラジル連邦共和国での海外研修に参加、JICAによる有償資金協力、技術協力事業、草の根技術協力、日系社会ボランティアの活動の視察や、日系コミュニティとの交流が行われました。合計4回の事前研修を通して学んだ、ブラジルの基礎知識、JICAの活動内容、日系移民の歴史、教材研究の方法等が十分に生かされた実り多い研修となりました。サンパウロ州のアチバイヤ市タンケ村では、日本から移住した方々の家にホームステイをし、親睦を深めたようです。

この記事の詳細は

<https://www.jica.go.jp/yokohama/topics/2017/171005.html>

★横浜のことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/yokohama/>

## ◆中部 日本の最先端健康実現型サービス、自立体力プログラムを世界へ



JICAの中小企業海外展開支援事業の制度を活用し、日本と同様に高齢化が深刻化するといわれていたタイ国で最も有効と思われる健康教室運営支援サービス「自立体力プログラム」を展開する静岡県の羽立工業株式会社の松浦伸行さんにお話を伺いました。このサービスは、体力テストを行うことで自分の体力が良いほうなのか良くないほうなのか知ることができ、各国、個人個人で異なる趣味嗜好や生活習慣の違いも加味した健康教室運営指導ツールが充実しているのが特徴です。

この記事の詳細は

[https://www.jica.go.jp/chubu/story/story\\_119\\_170828.html](https://www.jica.go.jp/chubu/story/story_119_170828.html)

★中部のことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/chubu/>

## ◆中国 オリジナルパンフレット「ひろしまと平和支援」が完成



平和都市として再生している広島県の「今」を目の当たりにすると、多くの研修員は平和こそが国づくりの基礎であると確信してくれます。平和の象徴としての意味を持つこの広島に拠点があるJICA中国では、様々な事業で「平和」をテーマにした事業を行ってきました。今回作成したパンフレット「ひろしまと平和支援」は、こうした平和事業を皆さまに広く知っていただき、今後も様々な機関と連携をしながら平和事業をすすめていくために、それぞれの事業の内容を写真やデータとともにご紹介するものです。

この記事の詳細は

<https://www.jica.go.jp/chugoku/topics/2017/ku57pq0000hmo2f.html>

★中国のことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/chugoku/>

## ◆四国 防災先進県・高知で学ぶ 「島嶼国総合防災行政」



8月14日から「島嶼国総合防災行政」が行われ、12カ国から16名が参加しました。JICAの防災研修として初めて小規模な島嶼国を対象にしたもので、島嶼国と同様に台風や大雨による洪水・土砂災害の被害が多く、また、南海トラフ大地震・津波の備えを進める防災先進県・高知を中心に、高知大学とともに研修を行いました。高知県では室戸市における行政と自主防災組織の連携、中土佐町での小学校での防災教育、高知市での防災訓練や災害派遣医療（DMAT）の取組など、総合的な防災の取組について、実地で学びました。

この記事の詳細は

<https://www.jica.go.jp/shikoku/topics/2017/1010.html>

★四国のことをもっと知りたい方は→ <https://www.jica.go.jp/shikoku/>

## EVENT REPORT



## ◆札幌 夏の恒例イベント「世界ふれあいひろば2017」



今年で14回目となる、夏の恒例イベント「世界ふれあいひろば」を8月19日に開催しました！札幌市、(公財)札幌国際プラザ、札幌姉妹都市協会、(一財)さっぽろ健康スポーツ財団の共催で開催し、約750名の方にお越しいただきました。研修員との交流や館内展示の見学などを通じて、広く世界について知っていただく、ほかの国や世界の課題を少しでも身近に感じていただく、という目的のもとで開催されています。

詳細は <https://www.jica.go.jp/sapporo/topics/2017/20170901.html>

札幌のことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/sapporo/>

## ◆二本松 ふくしまグローバルセミナー2017



9月23日～24日の2日間で開催された「ふくしまグローバルセミナー2017」。「いま開こう！世界へのトビラ」をスローガンとし、多文化共生・国際理解・国際協力をテーマにした宿泊型のセミナーでは県内最大の規模を誇ります。7つの「セッション」に分かれたプログラムで、講座E「タイとパナマでの土作り」の講師、元シニア海外ボランティアの森田久夫さんは有機農法の指導・普及のため、東南アジアの仏教国タイと中南米のパナマで計2度、シニア海外ボランティアに参加しました。

詳細は <https://www.jica.go.jp/nihonmatsu/topics/2017/ku57pq0000hpn3.html>

★二本松のことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/nihonmatsu/>

## ◆筑波 収穫祭を開催しました



9月16日の収穫祭には220名以上の方にご参加いただきました。来日中の研修員と地域の皆様のご協力で、今年5月に田植えをし、黄金色に実った稲「日本晴」を収穫。研修員と皆様の素晴らしい関係プレーのおかげで、時間内にすべての稲を刈り取ることができました。お子様の参加も多く、刈り取った稲を小さな手で一生懸命運んでくれました。稲刈り後には、アフリカのお米、ネリカ米と日本のお米を食べ比べながら、マレーシア風シーフード・ココナッツ・カレーをご試食いただきました。

詳細は<https://www.jica.go.jp/tsukuba/topics/2017/ku57pq0000hodtj.html>

★筑波のことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/tsukuba/>

## ◆北陸 アフリカビジネス展開支援セミナーを開催しました！



8月30日、JICA北陸主催（共催：明和工業株式会社）の「中小企業海外展開支援セミナー～アフリカとのビジネスパートナーシップを目指そう！～」を開催しました。第一部では、モロッコやサブサハラアフリカ各国の投資環境、ビジネスチャンスについての講演、第二部では、明和工業でインターンシップの実習をしているABEイニシアティブ研修員との交流会も行なわれました。会場は、70名以上の席がいっぱいとなり、おかげさまで大変な盛会となりました。

詳細は<https://www.jica.go.jp/hokuriku/topics/2017/20170904.html>

★北陸のことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/hokuriku/>

## ◆九州 海外展開セミナー in 宮崎



8月24日、宮崎大学との共催で「海外展開セミナー in 宮崎 ～ 海外展開と人材確保 魅力ある県内企業を事例として～」を開催しました。海外ビジネス展開に関心のある企業や関係機関等を対象に、多くの企業で課題となっている「人材確保」と、東南アジアを事例とした「海外ビジネス展開」をテーマに70名近い参加者が集まりました。アンケートでは、「海外事業を展開していく上で、様々なアプローチがあることを知り参考になった。」「JICAも中小企業のサポートをしてくれ、近い存在に感じることができた」などの声がありました。

詳細は<https://www.jica.go.jp/kyushu/topics/2017/ku57pq0000hjy4g.html>

★九州のことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/kyushu/>

## ◆沖縄 パシフィックリーダー×沖縄県内企業



8月18日、太平洋島嶼国10カ国の行政官等41名に対して、大洋州への展開に関心のある県内企業と太平洋島嶼国地域との協力関係構築に向けた可能性を探ることを目的に「太平洋島嶼国セミナー」を開催しました。県内企業が保有する島嶼型技術の紹介として、JICA中小海外展開支援事業を活用している株式会社西環境研究所の「バイオログフィルター」、ワイズグローバルビジョン株式会社の「小型海水淡水化装置」を株式会社グリーンウインドの「底面給水式植物工場」をご紹介いただきました。

詳細は<https://www.jica.go.jp/okinawa/topics/2017/ku57pq0000hj733.html>

★四国のことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/okinawa/>

## ◆地球ひろば 知っているようで知らないコットン、その生い立ちと魅力、問題とこれから



開催中の企画展示「『衣』を通じて見る世界—ファッションをミライのアクションに—」（2018年1月12日まで開催予定）に関連して、特定非営利活動法人 日本オーガニックコットン協会より講師をお招きし、セミナーを開催しました。みんなが知っているつもりのコットン。でも、本当に知っているのでしょうか？何となく知っているだけなのではないのでしょうか？植物としての綿花のすごさ、その栽培の実態、綿花の繊維の魅力と特長をご紹介しました。

★地球ひろばのことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/hiroba/>

## EVENT INFORMATION

## ◆駒ヶ根 国際理解教育指導者セミナー 信州発グローバル教育



11月25日（土）・26日、長野県内で国際理解の授業を実践（または予定）している、予定の小・中学校、高校の教員の方を対象に国際理解教育指導者セミナーを開催します。NIED・国際理解教育センターの伊沢令子氏を講師に迎え、国際理解教育の目的と内容についての理解、多様な参加型手法の活用方法とプログラム作り、国際理解教育に取り組むためのアイデアの共有等を行います。定員は35名、参加費は1,500円です。

詳細は<https://www.jica.go.jp/komagane/event/2017/ku57pq0000hmoxb.html>

★駒ヶ根のことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/komagane/>

## ◆関西 アフリカビジネス研究会アフリカ留学生とのネットワーキングフェア



11月20日（月）13時から神戸ポートピアホテルにて神戸市及びJETRO（日本貿易振興機構）等と共催で、アフリカビジネス研究会とアフリカ留学生とのネットワーキングフェアを開催します。巨大な消費財市場・インフラ市場の誕生が期待されるアフリカの“生の声”を聞くことができる機会を提供します。第1部はアフリカビジネス研究会、第2部はアフリカ留学生（ABEイニシアティブ留学生）とのネットワーキングフェアで参加費は無料です。

詳細は[https://www.jica.go.jp/kansai/event/2017/170904\\_01.html](https://www.jica.go.jp/kansai/event/2017/170904_01.html)

★関西のことをもっと知りたい方は→<https://www.jica.go.jp/kansai/>

## お知らせ

### 市民参加協力事業

#### ●草の根技術協力事業（草の根協力支援型、草の根パートナー型）第2回募集開始！

草の根技術協力事業の草の根協力支援型、草の根パートナー型について、2017年度第2回の募集を下記のとおり行います。多くの団体からのご応募をお待ちしています。なお、JICA 国内拠点では、事業のご相談を随時受け付けています。国際協力活動のアイデアをお持ちで、その活動を草の根技術協力事業として実施することを希望する団体は、早めに団体の事務所所在地を管轄するJICA 国内拠点へご相談（コンサルテーション）ください。すでにJICAの草の根技術協力事業を経験済み等により、提案書の完成度が高いとお考えの場合でも、事前によく相談いただくことを強く推奨します（草の根協力支援型は事前コンサルテーション必須）。

<JICA 国内拠点> <募集締切>

[https://www.jica.go.jp/partner/kusanone/ku57pq00001yv155-att/domestic\\_offices.pdf](https://www.jica.go.jp/partner/kusanone/ku57pq00001yv155-att/domestic_offices.pdf)

草の根協力支援型：10/30（月）

草の根パートナー型：11/30（木）

### 中小企業海外展開事業

#### ●2017年度第2回公示の募集要項説明会を実施しました

9月11日、12日に、JICA 中小企業海外展開支援事業（2017年度第2回「基礎調査」「案件化調査」「普及・実証事業」）の募集要項に関する説明会を実施しました。本部と国内機関（14か所）において、2日間でおおよそ622名のご参加を得ました。10月4日に企画書の応募を締め切り、採択結果通知は12月下旬を予定しています。公示・募集、説明会情報ページ（HP）にて、説明会動画の閲覧もできます。

[https://www.jica.go.jp/sme\\_support/announce/index.html](https://www.jica.go.jp/sme_support/announce/index.html)

発行責任者：国内事業部長  
編集：国内事業部広報班（計画課）  
tatpl@jica.go.jp